

宇治市議会だより



第122号
平成23年9月1日
(2011年)
発行 宇治市議会
〒611-8501
京都府宇治市宇治琵琶33番地
電話 20-8747 (直)
編集 広報委員会
ホームページアドレス: <http://www.city.uji.kyoto.jp/gikai/>

6月定例会

新体制28名で開かれた議会を 目指して本格的にスタート

◆「東日本大震災の復興支援等に関する意見書」など、2意見書が可決



6月定例会初日議場の様子(6月10日)

正・副議長決まる



宮本 繁夫
副議長



堀 明人
議長

議長あいさつ

宇治市議会では、市民の皆さんの代表である28名の議員が、宇治市の輝く未来に向かって、市政の発展と住民福祉の向上を推進し、明るく豊かな地域社会の創造と真の地方分権の確立を目指して懸命に努力してまいります。

議会基本条例が施行され、開かれた議会が一層求められております。「市民と議会のつどい」の実施など、情報の公開・共有を図っていきたくと考えております。また皆さん、ぜひ本会議や委員会の傍聴にお越し下さい。あわせて、さらなるご指導、ご助言を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年6月定例会は、6月10日から6月30日までの21日間の会期で開かれました。今定例会では、市から提出された「平成23年度宇治市一般会計補正予算(第1号)」をはじめとする13議案が可決されました。また、「東日本大震災の復興支援等に関する意見書」など、2意見書が可決されました。(8面に議決結果を掲載)

市政に関する一般質問は、6月17日、20日、6月21日の3日間にわたり、17人の議員が行いました。(2・3・4面に掲載)

5月臨時会

さる5月23日に開催された臨時会において、正・副議長の選挙が行われた結果、議長に堀明人議員が、副議長に故向野憲一議員が選出され、議員選出の監査委員に長野恵津子議員を選任する議案に同意するなど、7議案を可決(承認・同意)しました。(8面に掲載)

この他、総務、市民環境、建設水道、文教福祉の4常任委員会及び議会運営委員会の委員を新たに選任しました。(6面に掲載)

さらに、城南衛生管理組合議会議員として8名、京都府後期高齢者医療広域連合議会議員として2名、京都地方税機構議会議員として2名の議員を選出しました。(8面に掲載)

- 城南衛生管理組合議会議員
水谷 修 坂下 弘親
矢野友次郎 河上 悦章
西川 博司 浅見 健二
石田 正博 片岡 英治
- 京都府後期高齢者医療広域連合議会議員
荻原 豊久 関谷 智子
- 京都府地方税機構議会議員
宮本 繁夫 浅井 厚徳

もくじ

2・3・4面	一般質問
5面	一般質問の項目一覧 行政視察の報告 請願の出し方 9月の定例会の予定 委員会の紹介
6面	委員会の審査報告
7面	可決された意見書 議決結果
8面	固定資産評価審査委員会 委員の選任に同意 人権擁護委員候補者の 推薦に適任の意見 選挙管理委員会委員など 決まる 農業委員会委員を推薦 議事内容(抜粋) 議会トピックス

向野憲一議員逝去



宇治市議会議員向野憲一氏は、去る6月10日、虚血性心疾患のため永眠されました。同氏は、平成3年4月宇治市議会議員に当選されて以来、連続6期にわたり、宇治市発展のために活躍されてきたところです。

市議会では、告別式に際し、堀明人議長が弔辞を述べるとともに、6月14日の本会議において、浅見健二議員が追悼演説を行い、全議員が故人のご冥福を祈り黙とうを捧げました。

向野憲一議員の逝去に伴い、6月22日に欠員補充として川越清議員が繰り上げ当選されました。

また、6月30日に副議長選挙が行われ、宮本繁夫議員が選出されました。

永年在職議員表彰される

永年にわたり地方自治の進展に寄与した功績により、6月15日に開かれた全国市議会議員会第87回定期総会において、次の議員が表彰されました。6月定例会において、表彰状等の伝達が行われました。

- ◎議員在職20年以上
故 向野 憲一 議員
- ◎議員在職10年以上
松峯 茂 議員

一般質問

平成23年6月定例会の一般

質問は6月17日、20日、21日

の3日間にわたって行われ、17人の議員が質問を繰り広げました。紙面の都合により、その一部をお知らせします。



公明党議員団
いなよし
稲吉 道夫
みちお

西小倉地域の 小・中学校への 空調機設置は

教育

～答弁～
耐震補強工事完了に合わせて、順次設置していきたい

問 本市の小・中学校においては、耐震補強工事が終われば校舎の耐震補強による環境変化、学力充実を図るための夏季の各学校における学習支援の取り組みなどを総合的に考慮し、順次空調設置を進めていくことを基本方針として計画的に整備を進めている。今年度からは夏休みも短縮されるとのこと、西小倉地域の小・中学校についても、他の小・中学校と同様の学習環境となるよう、空調設置を検討していただきたいが、いかがか。

市長 西小倉地域の学校統合等については、引き続き、その具体化に向けて市教育委員会と検討を進めていた。また、市教育委員会が、小・中学校の現在の施設の耐震化や空調機設置については、設置者の責務として進めていきたいと考えている。したがって、西小倉地域の小・中学校についても、他の小・中学校と同様に耐震補強工事に合わせて、順次計画的に空調機の設置をしていきたいと考えている。

市内の 食中毒発生 状況は

衛生

～答弁～
昨年度に1件、ノロウイルスによる集団胃腸炎が発生している



公明党議員団
とりのい
鳥居 進
すすむ

問 先日来、生食肉を食べた方が食中毒で亡くなったという報道がされていた。市内の食中毒は、どれくらいの発生状況で、どのような被害が発生しているのか。

健康福祉部理事 昨年度、山城北保健所から市内で1件、ノロウイルスによる集団胃腸炎が発生し、重傷者なく収束したとの情報を受けた。今年度は食中毒が発生したとの情報は受けていない。

問 食中毒に対する市の管理体制は。

健康福祉部理事 関係各課が即座に連携できる横断的な組織を確立しており、定例的に連絡会議を開催して食中毒予防に対する認識を深めている。緊急の場合には、保健所と連携し、迅速な収束を図りたい。

問 市民への対応として、アナウンス等は行っているのか。

健康福祉部理事 府では7月から9月までを食中毒予防推進強化期間と定めており、本市でも、手洗いの励行や食物の十分な加熱を注意喚起する等、食中毒予防に努めている。

談合訴訟判決に おける賠償金の 返還状況は

行政

～答弁～
回収が困難であるが、引き続き請求を行いたい



無党派
かたおか
片岡 英治
えいじ

問 談合訴訟判決における賠償金の返還状況について、Aランクは順調に平成23年3月31日まで返済をされているが、Bランクはほぼ3年前の20年7月7日で途切れているがいかがか。どのように請求しているのか。

総務部長 債務の残っている業者には、毎年、請求を行っているが、Bランクでは、既に破産している業者、登記簿の所在地に実態のない業者、既に死亡している者、個人業者で業者登録がなく実態がつかめない者などが存在しており、回収が困難であるが、引き続き請求を行いたい。

問 一定の限度で区切って債権放棄をする予定はないか。

総務部長 現在考えていない。

問 どのような談合対策をとっているのか。談合が行われると非常に高どまりになり財政を圧迫することにもなる。

総務部長 公募型指名競争入札業者の固定化を避けるため、経費点数による発注区分をいち早く取り入れたなど、さまざまな取り組みを行っている。

工事中の宇治小 学校はゆとりあ る教育環境か

教育

～答弁～
児童や学校関係者等に迷惑がかからないよう努めている



共産党議員団
わたなべ
渡辺 俊三
しゅんぞう

問 先日、宇治小を訪問したが、絶えずなく工事の音が響いていた。児童の教育環境はしっかり守られているのか。

教育部長 低騒音、低振動型の機器を使用することで、周辺住民や児童等に迷惑がかからないよう努めている。

問 工事の騒音で窓を閉め切ったまま授業をすることになる。暑さ対策、熱中症対策は。

教育部長 昨年度は各教室に扇風機の配置、緑のカーテン等の設置等の取り組みを行い、可能な限り子どもたちの学習環境の維持に努めた。

問 教室の室温を点検して、30度を超えるような日には、その対処も考えるべきでは。

教育部長 昨年度同様の対応に加え、新たにミストシャワーの設置などの対策を行い、教育環境の維持に努めている。

問 現在の狭い運動場では授業にも支障をきたしているが、どう対応しているのか。

教育部長 敷地内の仮グラウンド等に加え、黄檗公園野球場等、周辺施設を活用して体育の授業を行っている。

西小倉地域の 学校施設の耐 震の状況は

防災

～答弁～
平成25年度までに
すべての学校施設の
耐震化を目指す



民主党議員団
まつみね
松峯 茂
しげのぶ

問 東日本大震災では、多くの子どもたちが被害に巻き込まれる悲しい事態となった。本市においても地震災害の発生確率は高いものと考えられ、その対応として各学校施設の耐震補強を進められているところである。しかし、西小倉地域の1中学校・3小学校は、学校規模適正化・学校統合の課題があり、耐震補強は見送りとされている。私たちの宝である子どもたちの尊い命と安全を守るため、すべての学校施設の耐震化を行うべきと考ええるが、市長の見解は。

市長 子どもたちが安全に安心して通うことができる学校施設を整備することは、設置者としての責務であると考えている。西小倉地域の小・中学校については、NEXUSプランに基づき学校統廃合等を検討し、地域の方と協議を進めているところであるが、耐震化については西小倉のすべての施設について本市の学校施設耐震化の計画期間である平成25年度までに実施ができるよう最大限の努力をしたい。

天ヶ瀬ダム再開 発は白紙に戻す べきでは

防災



社会議員団
池内 光宏

～答弁～
国に対し、しっかりと
した整備計画を求め
ていく

理事 有識者の意見を踏まえながら耐震設計を進め、あわせて大規模地震に対するダム耐震性能照査指針(案)に基づく照査も行う予定であり、今後も耐震に対し検証を実施していくとの報告を受けている。市としても耐震に対する十分な検証と必要に応じた対策の実施など、国に対して今後とも働きかけていきたい。
問 宇治市民はもとより下流域の住民が場合によれば壊滅的な被害をこうむる再開計画を、なぜ市長は議会に示すのか、理解に苦しむ。改めて天ヶ瀬ダムの再開発は白紙に戻すべきだ。市長の見解は。
市長 堤防、川堰の河道の確保、天ヶ瀬再開発、大戸川ダムをセットで、宇治市民の安全を守るために国に対し、しっかりとした淀川水系河川整備計画を求めている。

適正な児童・ 生徒数の規模は どの程度なのか

教育



共産党議員団
宮本 繁夫

～答弁～
現時点で適正な児童数
という概念は持っていない

問 市教委は「1学年単学級が将来的にも続くことが予想される場合には統廃合等をすすめる」としているが、今年から学級編成の基準が35人になり、西小倉地域の3校で学年単学級が続くことは、推計からもない。今年の3校の児童数は、ネクサスプラン策定の平成19年推計より65人も多い。すると、市教委は、学校の規模が小さいから問題だと言っているが、適正な児童数は。
教育部長 学級数で考えており、適正な児童数という概念は持ち合わせていない。
問 今回、25年度までに西小倉地域の小中学校の耐震化をするとした。西小倉地域の学校の耐震化をすすめるために今年12月までに、どの学校を残し、どの学校をなくすのかを決める方針であったが、その方針は変わるのか。
教育部長 耐震化するには、12月までに方針決定の必要があったが、西小倉地域の全学校の耐震化に努力することにしたので、これらを踏まえて今後の進め方を検討したい。

原発問題に 対する市長の 見解は

防災



共産党議員団
山崎 恭一

～答弁～
国に対して、
時機を逸することなく
必要な意見を述べる

問 放射性物質がいったん外部に出ると、それを抑える手だてがない原発を世界有数の地震国であり、世界1、2の津波国である日本に集中立地することは、危険きわまりない。5年から10年以内をめどに、原発ゼロを目指す計画をつくるべきだと思いが、市長の原発問題に関する見解は。
市長 東日本大震災により発生した福島第一原子力発電所の事故を契機に、世界的に原子力発電所そのものを見直す動きがあることは承知している。原発を維持するのか、推進するのか、ゼロを目指すのか、総合的に議論を尽くした上で結論が出されるべき。
問 福井県の若狭湾は14基が集中する日本一の原発集積地。この原発群の安全性の総点検は宇治市民にとっても重要、市はどう取り組むのか。
市長 琵琶湖汚染問題は関西広域連合で取り組むと決定している。津波対策耐震性などの見直し・安全対策は関西電力が取り組んでいると聞いている。

就労支援事業に 取り組むべき

行政



民主党議員団
西川 博司

～答弁～
関係機関を通じて、
各種職業訓練を実施
したい

問 市としても雇用を保障し市民の生活を守るために就労支援事業に取り組むべきと考えるが、どのような施策を用意しているのか。
市民環境部長 雇用・労働行政は国が対応すべきだが、ワンストップサービスデーの継続を関係機関と調整するほか、商工会議所や城南職業訓練協会を通じて、各種職業訓練を実施したい。
問 職業訓練センターでは、さまざまな事業が実施されているが、本来の目的である就職につながっているか調査等を行っているのか。
市民環境部長 職業訓練事業は、引き続き、産業振興センターで実施している。国等から委託を受けている講座は、就業につながったかどうか調査を実施している。今後、他の講座も同様の調査を実施するよう調整を図りたい。また、ハローワーク等との連携を強化し、市場ニーズの把握に努め、就職に有利な資格等が身につけられる職業訓練事業が開催できるよう調整したい。

宇治支援学校の 現状と今後 の対応は

教育



自民党議員団
荻原 豊久

～答弁～
府教育委員会と十分連
携を図り、必要に応じて
要望等をしていきたい

問 京都府のスーパーサポートセンターを併設した特別支援学校の拠点として、城南高校の跡地を活用し、本年4月13日に京都府立宇治支援学校が開校した。市街地の立地条件を生かし、地域に開かれた学校として大きな期待が寄せられている。しかし、通学児童・生徒の保護者からは、通学前からの不安が解消されない部分が多々あるなど、多くの意見が寄せられている。府立学校とはいえ、市内から多くの児童・生徒が通学している現状において、今後の対応を伺いたい。
教育部長 本市からは現在、143名の児童・生徒が通学されている。保護者は学校生活を体験する中で疑問や心配事もあると考えるが、所管の京都府教育委員会は運営体制について、十分検討した上で実施していると聞いている。しかし、本市も京都府に対して要望し、建設に至った経過があるため、市教委としても府教委と十分連携を図り、必要に応じて要望等を行いたい。

神明浄水場、 奥広野浄水場 統廃合について

水道



社会議員団
木村 正孝

～答弁～
両浄水場を統廃合し
て、新たな浄水場の建
設を検討している

問 宇治市水道ビジョンに記載のある神明浄水場と奥広野浄水場の統廃合について、基本的な考え方は。
水道事業管理者 災害時にも安定した給水確保するには浄水場の耐震補強や更新が必要であり、限られた予算で施策を実現するためには、設備投資等の費用を抑えることが課題である。神明及び奥広野浄水場は、施設の老朽化が進行しており更新が必要である。効率的に施設運用するため、両浄水場を統廃合し、新たな浄水場の建設を検討する。
問 平成18年の水道事業懇談会では、神明・開浄水場を含む4つの浄水場の休廃止も選択肢だと決められ、新しく建設するという内容ではなかったと思うが、いかがか。
水道事業管理者 両浄水場は、このままでは使えず、廃止等されればそれを補う形が必要となる。水道ビジョン中長期整備計画にある自己水35%、府営水65%という方針に変わりはなく、新たな浄水場の建設を検討している。

無党派 浅井 厚徳



本市の防災に 関しての 取り組み状況は

～答弁～
専門家による地域防災計画の点検のため、補正予算を提案する

問 防災計画を点検していくための基本的な考え方と市長の決意は。
市長 専門家による点検結果を踏まえ、早期に見直さなければならぬ事項、一定の時間をかけて見直すべき事項を整理し、見直すべきところはしっかりと見直していきたい。

問 黄檗公園が災害時の東宇治地域の防災拠点としてその機能を備えるための整備が始まった。西宇治公園はどのような位置づけなのか。西宇治体育館は防災機能が十分備わっているのか。また、公園全体で災害時を想定したシミュレーションができているのか。

市長 西宇治公園は、宇治市地域防災計画震災対策編の中で西宇治地域の防災拠点として位置づけられており、西宇治体育館は災害対策本部等としての運用を想定している等、防災拠点としての整備は一定整っていると考えている。しかし、災害発生時に具体的にどのように運用をしていくか等、ソフト面での整備についてはさらに検討すべき点がある。

自民党議員団 金ヶ崎 秀明



人事考課制度の 充実について

～答弁～
今後も具体的な手法について検討をしていきたい

問 職員の勤務評定を実施して、個々の職員の人事配置や昇任選考に反映させていこうという人事考課制度は、企業経営では常である。都市経営も同じであると思うが、考えは。

市長 本市では地方公務員法第40条に基づき、人材育成の視点や実績を重視した人事管理を行うことを目的に、平成18年1月から全職員を対象に人事考課制度を実施しているが、ここ数年の団塊の世代の大量退職による管理職員の大量異動があったことから、まずは評価者の評価能力の向上に努め、勤勉手当に反映させるための具体的な手法について検討していきたい。

問 人事考課制度はどんな基準で評価を行い、評価結果はどのようにランク付けをしているのか。
市長(公室長) 目標の達成度の実績・知識・技能・対人折衝などの能力、行動や姿勢などの態度という職務上の三つの要素について点数化、5段階に区分して考課を行っている。

自民党議員団 久保田 幹彦



小・中学生の英 会話能力の向上 を図るべきだ

～答弁～
自然な英語を聞かせることで、自然な英語の使い方や発音を指導している

問 文化等の違う外国を理解するには、その国の言語を理解し、その国の言葉で学習できる環境が理想である。ますます進む国際化時代に対応できるように、小・中学生の英会話能力の向上を図る必要がある。小・中学校の外国語活動等の目標を伺いたい。

教育長 小学校では、外国語を通じてコミュニケーション能力の素地を養うこと、中学校新学習指導要領の外国語科では、コミュニケーション能力の基礎を養うことが目標である。小学校で、聞く、話すことを中心に活動し、中学校への円滑な移行を図る。

問 児童・生徒の英語力の向上には、AETの質の問題が極めて重要だが、AETの選考基準と役割はどうか。
教育長 カムループス市等の協力で配置しており、それぞれの派遣元に対し、条件を示している。担任等の指導の補助を行う役割を担うものであり、自然な英語を聞かせることで、自然な英語の使い方や発音を指導している。

共産党議員団 水谷 修



宇治川堤防、 天ヶ瀬ダムの 安全点検を

～答弁～
宇治川堤防は専門家による論議の上で、今後の動向を決定したい

問 東日本大震災では、液状化・堤防の沈下等の被害が甚大であった。宇治川堤防は大丈夫か。
理事 平成19年3月に、基礎地盤の液状化に伴う堤防の沈下等への調査が行われており、宇治市内については、所定の耐震性を有しているため、対策が必要な区間は確認されていないとの報告を受けている。

問 宇治川堤防の耐震という点で、国に対して改めて再点検をするように求めるべきだが、市長の考えは。
市長 国・府においてさまざまな見直し等がされ、市も、専門家による点検を実施する作業を予算として提案している。さまざまな指摘を踏まえて、専門家による論議の上で、動向を決めていきたい。

問 天ヶ瀬ダムは新しい調査基準に基づく調査をされていない。点検を求めるべきでは。
副市長 国において、適切に管理していただく。市としても必要に応じて、安全性確保について国に働きかけていきたい。

共産党議員団 坂本 優子



待機児童の解消、 子ども医療 費助成の拡大を

～答弁～
直ちに本市独自で助成拡大を実施することは困難と考える

問 保育所待機児童は6月10日時点で10人も発生し、うち乳児が84人。産休明けの入所希望も強い。今後の待機児童対策は。
健康福祉部長 南浦保育所分園で15人、東宇治幼稚園などで実施する家庭的保育事業で20人の定員拡大を初め、五ヶ庄梅林地内で120人定員の保育所新設に向けて取り組む。

問 開発などで、広野、中宇治地域でも今以上に保育所入所希望の増加が予測される。新設保育所の建設の考えは。
健康福祉部長 総量の目標事業量を達成するために保育所の定員増に取り組み、さらに年度途中の緊急的な対策にも取り組む。

問 子ども医療費無料化は府内の各自治体が中学校・小学校卒業までと制度の拡充に取り組んでいる。3歳まで無料の宇治市は大変遅れている。小学校卒業まで拡充すべき。
健康福祉部理事 限りある財源の適切な効果的な活用が自治体の使命であり、国・府で検討、対応する課題である。

共産党議員団 木沢 浩子



防災の視点から も開浄水場は 存続させるべき

～答弁～
地下水であれば防災上安全であるとは考えていない

問 開浄水場問題について、住民と市との間の給水契約は、地下水を水源とする開浄水場からの給水を契約の内容としている。浄水場を休止して、府営水へ切りかえることは契約内容の変更ではないのか。また、契約の内容を変更するためには、当事者の合意を得るための協議を行うことが必要ではないか。

水道部長 開浄水場の裁判に関する質問は、地元側が最高裁に上告されていることから、今後の裁判のこともあるため、答弁は差し控える。

問 福島第一原発の事故では、一つの水源地が汚染することにより、広域水道のため、水域の水道がストップした。防災上からも水源多様化の必要性は明らかだ。開浄水場を存続させるべきでは。
水道部長 災害による被害の状況は、災害の規模、種類、強さ、そして対象となる施設の地理的条件により違ってくるものであり、地下水であれば防災上安全であるとは考えていない。

一般質問の項目一覧

一般質問とは、議員が市政全般に対して政策提案・提言を行い、執行機関の見解を求めることです。

無党派 片岡 英治 全対策

① 談合訴訟判決における賠償
② 住宅の耐震化促進
③ JR木幡駅のバリアフリー

民主党議員団 松峯 茂

① 市長の政治姿勢

② 地域課題

公明党議員団 稲吉 道夫

① 防災施策

② 高齢者福祉

③ 公園整備

④ 免許制度

⑤ 地域課題

公明党議員団 鳥居 進

① 行政改革(施政方針より)

② 地方自治における社会的責任

③ 食の安全

④ 大久保駅周辺地区整備構想

共産党議員団 渡辺 俊三

① 宇治小・小中一貫校問題

② 志津川の自然環境保護

③ 梅林の障害者福祉施設建設

共産党議員団 宮本 繁夫

① 西小倉地域の学校統廃合

② 学校の耐震化と夏期対策

③ 近鉄小倉駅周辺整備

民主党議員団 西川 博司

① 災害対策

② 環境政策

③ 勤労者の生活防衛

社会議員団 木村 正孝

① 災害に強いまちづくり

② 宇治市地域水道ビジョン

③ 開浄水場の存続

社会議員団 池内 光宏

① 市長の政治姿勢

② 防災対策

③ 雨水対策

共産党議員団 山崎 恭一

① 原発ゼロをめざす計画と安

総務常任委員会

● 日程
7月21日から22日

● 視察人員

委員7名、市関係部署2名、議会議務局1名 計10名

● 視察先・視察項目

【福井県福井市】

① 第3次福井市地域情報化計画について

市民環境常任委員会

● 日程
7月21日から22日

● 視察人員

委員7名、市関係部署1名、議会議務局1名 計9名

● 視察先・視察項目

【山口県下関市】

① 環境施策について
ポイ捨て禁止を行うため、路上喫煙禁止区域を設けており、平成20年に条例改正を行い、路上喫煙禁止地区の指定、過料の規定を行っている。また、禁止区域であっても、「ほっとびと」という指定喫煙場所を設けている。

建設水道常任委員会

● 日程
7月20日から22日

● 視察人員

委員7名(うち1名は公務のため2日間の参加)

市関係部署2名

議会議務局2名 計11名

● 視察先・視察項目

【福井県】

① 平成16年7月の福井豪雨による足羽川洪水災害について

文教福祉常任委員会

● 日程
7月12日から14日

● 視察人員

委員7名、市関係部署2名、議会議務局2名 計11名

● 視察先・視察項目

【福岡県古賀市】

① 千鳥児童センター(COS MOX)について
② サンコスモ古賀について

行政視察報告

総務常任委員会・市民環境常任委員会・建設水道常任委員会・文教福祉常任委員会の行政視察について報告します。市議会ホームページの中でも掲載していますので、是非ご覧ください。



▶ 福井市での視察風景



▶ 下関市での視察風景



▶ 福井県での視察風景



▶ 古賀市での視察風景



▶ 上越市での視察風景



▶ 尾道市での視察風景



▶ 富山県富山市での視察風景



▶ 筑紫野市での視察風景

請願の出し方

請願とは

市政などについて、意見や要望があるときは、個人・団体・法人を問わず、誰でも議会に請願を出すことができます。請願をする権利は憲法で保障されています(憲法第16条)

請願を提出する時期は

いつでも提出できますが、定例会(3月、6月、9月、12月)での審議に間に合うための提出期限(招集日の2日前、2日前が休日の場合はその前日)がありますので、あらかじめご了承ください。

請願を提出するには

採択された請願は、市政に関するものは市長等に送付し、それ以外の場合は、国や府などに意見書や要望書として提出する場合があります。

請願書を提出するには、議員の紹介が必要です(地方自治法第124条)。請願書には、紹介議員の署名をつけ、件名・趣旨を簡潔に書き、提出年月日、請願者の住所及び氏名を記載し、請願者が押印してください。あて先は宇治市議会議長として、議会議務局に提出してください。書式は下の図を参考に、できるだけA4版の用紙を使用してください。

(表紙)

(件名) ……についての請願書

紹介議員(署名)

(内容)

(請願の趣旨)

……

○年○月○日 宇治市議会議長 ○○○様

請願者 氏名○○○○ 印

住所 電話番号

問い合わせ先 電話0774208747(議会議務局)

9月定例会の予定

月日	曜日	会議日程等
9/13	火	議会運営委員会
9/16	金	議会運営委員会 請願提出締切
9/20	火	本会議(招集・提案説明等)
9/22	木	議会運営委員会 本会議(議案審議等) 全員協議会 委員長会議
9/28	水	本会議(一般質問)
9/29	木	本会議(一般質問)
9/30	金	本会議(一般質問)
10/3	月	常任委員会
10/4	火	常任委員会
10/11	火	常任委員会
10/12	水	常任委員会
10/17	月	議会運営委員会
10/18	火	本会議(議案審議)

次の定例会は9月20日からの予定です。
正式日程は9月13日の議会運営委員会で決定します。

新しい委員会構成決まる

◎は委員長
○は副委員長
(H23.6.30)

常任委員会

市民環境 <small>市民環境部、農業委員会を担当します。</small>		総務 <small>市長公室、政策経営部、総務部、会計室、消防本部、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、固定資産評価審査委員会、他の常任委員会の所管に属さない事項を担当します。</small>	
 ◎石田 正博 <small>民主党議員団</small>		 ◎西川 博司 <small>民主党議員団</small>	
 ○荻原 豊久 <small>自民党議員団</small>		 ○河上 悦章 <small>公明党議員団</small>	
 渡辺 俊三 <small>共産党議員団</small>		 水谷 修 <small>共産党議員団</small>	
 田中美貴子 <small>民主党議員団</small>		 矢野友次郎 <small>民主党議員団</small>	
 川越 清 <small>自民党議員団</small>		 坂下 弘親 <small>自民党議員団</small>	
 金ヶ崎 秀明 <small>自民党議員団</small>		 浅見 健二 <small>社会議員団</small>	
 長野 恵津子 <small>公明党議員団</small>		 片岡 英治 <small>無党派</small>	
建設水道 <small>建設総括室、建設部、都市整備部、公営企業水道部を担当します。</small>		文教福祉 <small>教育委員会、健康福祉部を担当します。</small>	
 ◎坂本 優子 <small>共産党議員団</small>		 ◎山崎 恭一 <small>共産党議員団</small>	
 ○久保田 幹彦 <small>自民党議員団</small>		 ○真田 敦史 <small>民主党議員団</small>	
 木沢 浩子 <small>共産党議員団</small>		 宮本 繁夫 <small>共産党議員団</small>	
 松峯 茂 <small>民主党議員団</small>		 堀 明人 <small>自民党議員団</small>	
 関谷 智子 <small>公明党議員団</small>		 稲吉 道夫 <small>公明党議員団</small>	
 鳥居 進 <small>公明党議員団</small>		 池内 光宏 <small>社会議員団</small>	
 木村 正孝 <small>社会議員団</small>		 浅井 厚徳 <small>無党派</small>	

会派構成 (◎：団長、○幹事)

会派名	人数	構成議員
日本共産党宇治市会議員団	6	◎水谷 修 宮本 繁夫 ○山崎 恭一 坂本 優子 渡辺 俊三 木沢 浩子
民主党宇治市会議員団	6	◎矢野友次郎 西川 博司 ○松峯 茂 田中美貴子 石田 正博 真田 敦史
自由民主党宇治市会議員団	6	◎○坂下 弘親 川越 清 堀 明人 久保田 幹彦 荻原 豊久 金ヶ崎 秀明
公明党宇治市会議員団	5	◎河上 悦章 ○関谷 智子 長野 恵津子 鳥居 進 稲吉 道夫
社会議員団	3	◎浅見 健二 ○池内 光宏 木村 正孝
無党派	1	浅井 厚徳
	1	片岡 英治

注)本文中では会派名を省略して表記しています。

議会運営委員会

◎浅見 健二
○田中美貴子
水谷 修
坂本 優子
松峯 茂
坂下 弘親
久保田 幹彦
関谷 智子
長野 恵津子

議会運営(議事)を円滑にすることを目的として、議会の運営の全般についての協議、意見調整を図るために設けられる常設の委員会です。

議案、請願などについての各会派間・各議員間の連絡調整や、議会改革に関する諸問題

広報委員会

◎松峯 茂
○関谷 智子
坂本 優子
渡辺 俊三
真田 敦史
坂下 弘親
金ヶ崎 秀明
鳥居 進
木村 正孝
浅井 厚徳

▼広報委員会委員

広報委員会は、議会活動を広く市民の皆さんにお知らせすることで、議会に関する関心と理解を深めていただき、市政や議会のあり方を市民の皆さんと一緒に考えていくために「宇治市議会だより」を発行しています。また、議会ホームページ等、議会の広報全般について、協議・調整を行います。

議会運営委員会
 ① 議会の運営に関する事項
 ② 議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項
 ③ 議長の諮問に関する事項

問題を調査・検討しています。また、次に掲げる事項について調査を行います。



6月定例会 委員会の審査報告

6月定例会中の総務常任委員会、市民環境常任委員会、建設水道常任委員会、文教福祉常任委員会が審査した内容について、その一部をお知らせします。

市民 第51回宇治川花火大会について 環境 「みんなでがんばろう!日本」という震災復興を願った合い言葉をつけて実施

【審査項目】
●報告 第51回宇治川花火大会について
市から次のとおり説明が行われた。
第51回宇治川花火大会は、観光都市宇治のイメージの高揚を図るとともに、東日本大震災からの1日も早い復興を願うことを趣旨とし、「みんなでがんばろう!日本」という震災復興を願った合い言葉をつけて実施する。8月10日開催、場所も同様だが、有料観覧席はこれまでの塔の島会場のほか、新たに川東会場、宇治橋下流の右岸河川敷とする予定。花火は、19時45分から約1時間を想定している。花火観覧席入場券は、6月25日から販売する。なお、被災者支援として、東日本大震災で被災して本市に避難されてい



る方を有料観覧席に招待し、震災復興を願った募金箱もいくつか設置したいと考える。クリーン作戦も、昨年に引き続き実施していきたい。
これに対し委員から、「招待席にはどのような人が招待されるのか」、「高齢者やハンディキャップのある方等の招待席があってもよいのでは」、「一回花火大会をするのに費用はどのくらいかかるのか」等の質疑が行われた。

建設 西大久保地区の浸水被害に対し、軽減対策を報告 水道 「西大久保小学校に調整池を設置することが最も望ましい」

【審査項目】
●報告 西大久保地区排水路調査検討業務委託の結果について
市から次のとおり説明が行われた。
平成20年6月20日及び平成21年6月16日に発生したゲリラ豪雨により、西大久保地区特に西大久保小学校校門前から東側の広い範囲で床下浸水や道路冠水が発生したことから、平成22年度に当地域の浸水被害の有効な軽減対策について検討を行った結果、西大久保小学校に4、300㎡の調整池を設置する対策が費用対効果面においても最も望ましい結果となった。事業の実施に向けては、財源の確保において国の補助金などの活用が必要不可欠であることから、さらに現在取り組んでいる洛



南処理区雨水排除計画との整合を図り、排除計画の中で優先順位や財源について熟慮を上げていく。
これに対し委員から、「対策はまだ実施しないのか」、「想定される費用は」、「国庫負担はどれくらいか」、「どれぐらいのペースで工事が進むのか」、「この事業を行うまでの対策は」、「新川を改修した場合の費用は」、「古川の改修は検討しなかったのか」等の質疑が行われた。

可決された意見書 (要旨)

東日本大震災の復興支援等に関する意見書

平成23年3月11日に発生したマグニチュード9.0という観測史上最大の巨大地震、その後の津波等による東日本大震災により日本社会が経験をしたことのない未曾有の被害がもたらされた。多くの人が被災し、今後の生活の目途も立たない状況が続いている。
東日本を中心に今後のまちづくりを進めていく上での復興計画の指針策定が必要であるが、それぞれの地域特有の問題を抱え、策定には時間を要している。
また、関東圏の電力供給の問題や、東日本における農水産品や工業製品等の出荷量の減少により、日本経済全体が

公立学校施設における防災機能の整備の推進を求める意見書

政府におかれては、大規模地震等の災害が発生した際、公立学校施設において、地域住民の「安全で安心な避難生活」を提供するために、耐震化等による安全性の向上とともに、防災機能の向上とその強化が不可欠であるとの認識に立ち、以下の項目について、速やかに実施するよう強く要望します。
(1)公立学校施設を対象として、今回の東日本大震災で明らかになった防災機能に関する諸課題について、阪神・淡路大震災や新潟県中越沖地震など過去の大規模災害時における事例も参考にしつつ、十分な検証を行うこと
(2)公立学校施設を対象として、

総務 消防通信指令システム再整備事業業務の委託契約を締結 〈市民の生命等を火災等の災害から守るため、再整備を行う〉

【審査項目】
●議案第40号 消防通信指令システム再整備事業業務の委託契約を締結するについて
市から次のとおり説明が行われた。
消防通信指令システム再整備事業業務について、公募型プロポーザルを執行したところ4者の参加があり、本市にとって最適の提案をした業者を契約対象業者として選定し、去る6月14日付で仮契約を締結した。契約金額は2億3,079万円である。設置場所は、うじ安心館2階、指揮指令課である。現行の消防通信指令システムは、おおむね10年間使用していることから、指令体制の充実を図り、市民の生命、身体及び財産を火災等の災害から守るとして消防の責務遂行のため、現行シス



テムの再整備を行うものである。
これに対し委員から、「今後基本的には10年ごとの更新なのか」、「機器の保守点検は契約内容に入っているのか」、「現行システムから大きく変更された点は」、「経過は公表しないということだが、結果は公表すべきだ」等の質疑が行われた。
その後、採決が行われ、賛成多数で可決すべきものと決した。

文教福祉 国民健康保険料を引き下げる条例案(議員提案) 〈賛成少数で否決〉

【審査項目】
●議案第4号 宇治市国民健康保険条例の一部を改正する条例を制定するについて
提案議員から次のとおり説明が行われた。
国民健康保険に加入する人たちは、収入面や健康面で大変厳しい生活を余儀なくされている人たちが大半を占めているにもかかわらず、毎年保険料が引き上げられている。市民の命と健康を守るためにも、保険料を引き下げて、加入者の負担の軽減を図るべきである。なお、必要な財源は前年度国保特別会計の決算見込みの黒字分と一般会計からの繰入金他市並みに増やせば十分に確保できるものである。
これに対し委員から、「国保加入者以外の市民の理解をど



う得るのか」、「この間、国保料を引き上げてきた理由は」、「黒字になった分だけで引き下げることはできないのか」、「昨年の料率改定は必要なかったのでは」、「中長期的に見て、料率を下げれば子どもも世代に負担がかかるのでは」、「等の質疑が、提案者や市に対して行われた。
無党派委員からの反対討論と共産党議員団委員からの賛成討論の後、採決が行われ、賛成少数で否決すべきものと決した。

5月臨時会 議決結果

※議案の後ろの<>内は審査した委員会名、ないものは本会議直接審議。
 共産=日本共産党宇治市議会議員団(水谷、向野、宮本、山崎、坂本、渡辺、木沢) 公明=公明党宇治市議会議員団(河上、関谷、長野、鳥居、稲吉)
 民主=民主党宇治市議会議員団(矢野、西川、松峯、田中、石田、真田) 社会=社会議員団(浅見、池内、木村)
 自民=自由民主党宇治市議会議員団(坂下、堀、久保田、荻原、金ヶ崎) 無会派1=浅井 無会派2=片岡

すべての会派が賛成した議案

議案		議事内容(注1)	議決結果
議案	専決処分の承認(=市税条例)	監査委員の選任同意	
	市議会委員会条例の一部改正〔議員提案〕		
決議	アメリカ政府の核性能実験に反対する決議		

会派で賛否が分かれた議案

○印 = 賛成, ×印 = 反対

議案	議事内容(注1)	議決結果	会派名					無会派1	無会派2
			共産	民主	自民	公明	社会		
議案	専決処分の承認(=国民健康保険)	可決	○	○	○	○	○	○	×

選挙・推薦 結果一覧

選挙	投票	議長		副議長	
		長	副議長	長	副議長
選挙	投票	堀明人(27票)	白票(1票)	向野憲一(27票)	白票(1票)
		京都府後期高齢者医療広域連合議会議員	関谷智子(14票)	荻原豊久(13票)	白票(1票)
	指名推薦	京都地方税機構議会議員	宮本繁夫(14票)	浅井厚徳(13票)	白票(1票)
		城南衛生管理組合議会議員	水谷修、矢野友次郎、西川博司、石田正博、坂下弘親、河上悦章、浅見健二、片岡英治		

6月定例会 議決結果

※議案の後ろの<>内は審査した委員会名、ないものは本会議直接審議。
 共産=日本共産党宇治市議会議員団(水谷、宮本、山崎、坂本、渡辺、木沢) 公明=公明党宇治市議会議員団(河上、関谷、長野、鳥居、稲吉)
 民主=民主党宇治市議会議員団(矢野、西川、松峯、田中、石田、真田) 社会=社会議員団(浅見、池内、木村)
 自民=自由民主党宇治市議会議員団(坂下、川越、堀、久保田、荻原、金ヶ崎) 無会派1=浅井 無会派2=片岡

すべての会派が賛成した議案

議案		議事内容(注1)	議決結果
議案	市議会会議規則の一部改正	平成23年度一般会計補正予算(第1号)	
	平成23年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	市税条例の一部改正<総務>	
	市立学校設置に関する条例の一部改正<文教福祉>	市道路線の認定<建設水道>	
	菟道第二小学校耐震補強工事の請負契約の締結<文教福祉>	神明小学校耐震補強工事の請負契約の締結<文教福祉>	
	小倉小学校及びデイホーム耐震補強工事の請負契約の締結<文教福祉>	大開小学校耐震補強工事の請負契約の締結<文教福祉>	
	消防通信指令システム再整備事業業務の委託契約の締結<総務>	固定資産評価審査委員会委員の選任同意	
諮問	人権擁護委員候補者の推薦に意見		
意見書案	東日本大震災の復興支援等に関する意見書	公立学校施設における防災機能の整備の推進を求める意見書	

会派で賛否が分かれた議案

○印 = 賛成, ×印 = 反対

議案	議事内容(注1)	議決結果	会派名					無会派1	無会派2
			共産	民主	自民	公明	社会		
議案	京都地方税機構規約の変更<総務>	可決	×	○	○	○	○	○	○
	宇治市国民健康保険条例の一部改正<文教福祉>〔議員提案〕	否決	○	×	×	×	○	×	○
意見書案	原子力発電からの脱却を求める意見書	否決	○	×	×	×	○	○	○

選挙・推薦 結果一覧

選挙	投票	副議長	
		長	農業委員会委員
選挙	指名推薦	宮本繁夫(28票)	水谷修(8票)、矢野友次郎(8票)、関谷智子(8票)、白票(4票)
		選挙管理委員会委員及び同補充員	委員:長谷部松子、若山喜久徳、森居研治、奥西隆三 補充員:鈴木妙子、小林義雄、飯田進、藤本和夫

(注1) 議事内容は省略・わかりやすく変更して記載している場合があります。

◎農業委員会委員
水谷修、矢野友次郎、関谷智子

◎農業委員を推薦しました。(敬称略)

●選挙管理委員会委員補充員
鈴木妙子、飯田進、藤本和夫

●選挙管理委員会委員補充員
小林義雄、森居研治、奥西隆三

●選挙管理委員会委員補充員
長谷部松子、若山喜久徳

●選挙管理委員会委員補充員
宮本繁夫(28票)

●選挙管理委員会委員補充員
水谷修(8票)、矢野友次郎(8票)、関谷智子(8票)、白票(4票)

●選挙管理委員会委員補充員
委員:長谷部松子、若山喜久徳、森居研治、奥西隆三
補充員:鈴木妙子、小林義雄、飯田進、藤本和夫

◎人権擁護委員候補者
佐竹卓二(敬称略)

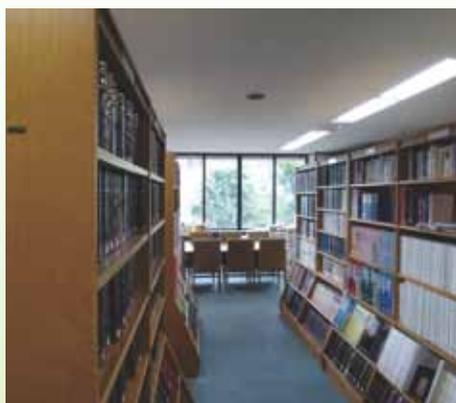
◎固定資産評価審査委員会委員
大石昭二(宇治市在住)(敬称略)

◎人権擁護委員候補者の推薦に適任の意見
議会は、人権擁護委員候補者の推薦に適任と意見を付しました。

◎固定資産評価審査委員会委員の選任に関する議案に同意しました。

◎固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

議会トリビア



▲議会図書室の様子

「議会トリビア」の第5回目は、「議会図書室」についてご紹介します。

議会図書室は、議員の議会活動に必要な資料を収集、保管して提供することを目的とした専門図書室です。ここでは、地方自治関係を中心とした合計2,242冊の蔵書が収集されています。

あまり知られていませんが、市民の皆さんも利用することが可能です。(蔵書の貸し出し、複写のサービスは利用できません。)

一度皆さん、議会図書室を覗いてみませんか。

122号担当 広報委員会委員 真田

議事内容 (抜粋)

宇治市国民健康保険条例の一部を改正する条例

〔議会議案第4号 宇治市国民健康保険条例の一部を改正する条例を制定するについて〕左記のとおり討論が行われた。

賛成
共産党議員団 渡辺俊三

本条例は、市民の暮らしを守る自治体の役割から見て、時宜にかなった提案であり、財政状況から見て、十分に実現可能な内容であることが審議を通して明らかになった。よって、本条例案に賛成する。

社会議員団 池内光宏

反対
自民党議員団 荻原豊久

近年、総所得200万円を切る年金生活者がふえる中で国保料は15%以上、介護保険料も入ると20%近くもの負担が強いとされている。単年度黒字分だけでも国保料の軽減措置を講ずるべきだ。

今日の厳しい社会経済状況の中、保険料の負担が軽いものではないことは承知しているが、地域住民の健康と医療を担う国保事業の中期の展望を見据えた健全な安定運営の持続こそが、結果として加入者のみならず、市民全体の負担軽減につながると思われる。

採決の結果、賛成少数で否決された。